

学校教育目標「楽しい学校」 ・ 確かな学び ・ 豊かな心 ・ すこやかな体
重点目標「思いを届けよう」



学校だより
9月号

朝 日 子

令和4年8月25日発行
いとうしりつにししょうがっこう
伊東市立西小学校



思 い を 届 け よ う

こうちよう こがた たけはる
校長 小形 丈晴

本年度の重点目標に掲げた「思いを届けよう」ですが、1学期、新たな気持ちで学級作りをしていく中、子どもたちは、進化する仲間「こんな学級にしたい」「〇〇をみんなで頑張りたい」と、それぞれの思いを出し合っていました。6月、第2ステージに入って、授業中「私はこう思うよ」「こうしたらどうかな」と、学び合う仲間たちに自分の思いを伝え合っていました。また、1学期は3校統合に向け、新たな仲間となる東小と旭小の友達に、遠足で出会い、合同交流会ではさらにお互いを知るために、自己紹介ゲームをしたり、運動会のダンスを披露したりする中で、思いを届け、思いを受け取る姿が多く見られました。

夏休みに入る前には、私から子どもたちに「あいうえお」のお願いをしました。それは、

「あ」…挨拶！ 「い」…命！ 「う」…運動や勉強！ 「え」…笑顔！ 「お」…思い！



というものでした。

特に「お」の思いを届けようの具体例として、家族へ日頃の感謝の思いを届けるために、お手伝いをするとか、普段遠く離れている人へ思いを届けるために、暑中見舞いを出すとかができるとうい話をしました。子どもたちは、どんな思いをどのように届けることができたのでしょうか。

さて、2学期からは第3ステージに入り「周りの人に思いを届けよう」となります。子どもにとっての周りの人、それは同級生であり、西小の他学年の児童であり、東小や旭小の友達であり、先生であり、家族であり、近所の方であり、園児やゲストティーチャー等であると思います。その人々に、どのような思いを届けていくのか。どのような形で届けていくのか。コロナが収まりきらず、伝え方にも制約が生じますが、しっかりと自分の思いを届ける姿を期待しています。